

花とあいさつと表現の学校

県・地区・市の重点等

- ◆ 確かな学力の定着
- ◆ 豊かな心とたくましい体の育成
- ◆ 基本的な生活習慣形成
- ◆ 地域に根ざした魅力ある学校づくり (C・S)
- ◆ 小中一貫教育の充実
- ◆ 業務改善 (働き方改革)

本校の現状

1 かしこい子 (確かな学力)

1 NRT学力検査

- ① 全教科とも全国を下回っている。(定着度・全国学力は上回っている)
- ② 基礎・基本の定着が不十分な子が見られる。
- ③ 特に、資料を読み取ったり、自分の考えを記述したりする問題が弱い。

2 家庭学習

内容・見届けの充実とともに、授業とリンクした取組も必要である。

3 小中一貫教育

学力向上を具現化した授業交流を推進する。

2 やさしい子 (豊かな心)

1 問題行動

深刻ないじめ問題の発生はないが、子供同士のトラブルはある。「1件でも多く認知し、チーム学校で解消する」Momの態勢。学校いじめ防止基本方針。

2 不登校

配慮を要する児童はいる。毎日の連絡会で情報共有を図りながら、今後も寄り添った指導をする。

3 あいさつ

語先後礼に努めているが、相手に届く声で今後も地域を巻き込んだ取り組みを実践する。

4 読書

読書は努力の姿があり伸びてきた。今後も各学級での取組を推進する。

3 たくましい子 (たくましい体)

1 健康・安全

- ① 起床・就寝時刻の改善が必要である。(特に週末)
- ② う歯の治療率向上が、課題である。(継続)
- ③ メディアとの良好な関係構築が必要である。
- ④ コロナ対策を通じた感染症理解と予防に努める。

2 体力づくり

- ① 柔軟性(男女共通)・持久力・投力に課題、二極化も見られる。
- ② 体力づくり・外遊び等積極的に運動できている。
- ③ チャレンジがこしまへ積極的に挑戦している。

学校教育目標

豊かな心とたくましい体を持ち、基礎的・基本的事項を身に付けた、実践力のある子供の育成を図る。

【夢や目標にチャレンジできる子供の育成】

共通実践重点事項

1 かしこい子 (確かな学力)

- 主体的・対話的で深い学びの授業構築 (子供が「わかった・できた」と実感できる授業)
 - 目標の明確化「課題意識」
 - 子供が主体となる学び、グループ活用「課題の自力追究(一人調べ)」「ペア・グループでの思考の深まり」「全体での練り上げ」～「ガイド学習」
 - ラスト10分の充実「焦点化されたまとめ」「確かめテスト」等
- 個に応じた指導・繰り返し指導の実践
 - トリル、アシスト等による繰り返し指導(Web問題活用・ICT活用)
 - 個別指導の充実(個人ファイル)
 - チャレンジタイムの活用(週3回)
 - 英語、ローマ字チャレンジ
- 学習のしつけ等の徹底
 - 「手打小学校まなび方8つのやくそく」の徹底 ※「はい」という返事
- 家庭学習の徹底(授業とのリンク)
 - 復習・予習・個別問題・音読等→見届け
- ふるさと・コミュニケーション科の充実
 - 地域の人材活用推進・体験活動の充実

2 やさしい子 (豊かな心)

- 道徳教育の充実(考え議論する道徳科)
- 縦割り班活動・特別活動等の充実
 - 集団の一員としての自覚化
 - 思いやりの心、感謝する心の育成
- あいさつの習慣化
 - 「いつでもどこでもだれにでも笑顔であいさつ」の実践
- 特別支援教育の充実・スタートカリキュラム(個別の指導計画・支援計画)
- 人権教育の充実
 - 「仲間づくり」の活用(よさの認め合い・思いやり・協力・支え合い)
 - Momの浸透と個に寄り添う教育
- 心に届く生徒指導の推進
 - 「いじめアンケート」の活用
 - 事例研究会の実施→共通理解・共通実践
 - 教育相談(随時)、スクミミーティング(7月)
 - 「手打タイム」の推進(感謝の心、自己有用感の育成)・SST
- 読書指導の充実
 - 読書冊数の設定と声かけ
 - 親子読書会との連携

3 たくましい子 (たくましい体)

- 健康な生活習慣の確立
 - 早起き・早寝・帰ったらすぐに宿題
 - メディアコントロール(21時OFF)
 - 手洗い、うがい、マスク着用、アルコール消毒、定期的な換気の励行
- 安全指導の徹底
 - 「手打のよい子」の徹底
 - 「横断した後笑顔でお礼」の推進
 - 交通教室・各種訓練の充実と繰り返し指導、ヘルメット着用・保険加入促進
- 安全で快適な教育環境の整備
 - 安全点検の実施と迅速な補修等
- 運動習慣の育成と教科体育の充実
 - 一校一運動の推進(一輪車・縄跳び検定等)
 - 体力・運動能力調査(年2回の活用)
 - 体力ナビ活用(個人ファイル作成)

児童数の動向

H31	24名	4学級
R2	21名	4学級
R3	23名	4学級
R4	18名	4学級
R5	17名	3学級
R6	17名	3学級
R7	21名	4学級

- ※ H30より特別支援学級を開設
- ※ R5より特別支援学級を廃止
- ※ R7・R8は低学年単式予定

本校の数値目標

1 かしこい子 (確かな学力)

- アンダーアチーバー0
- 単元テスト 80%9割 (期待点通過9割)
- 100点チャレンジ(全員)
- 鹿児島学習定着度調査 70%
- 家庭学習 (9割) 10分×学年+30分以上
- 個人ファイルの活用(全員)
- 小中一貫教育 授業交流の計画的推進 交流活動の計画的推進

2 やさしい子 (豊かな心)

- 道徳科授業年1回(全員) 相互参観(研修)
- あいさつ (8割) (児童・保護者アンケート「よい」)
- 事例研究会(毎月1回)
- 教育相談(随時相談窓口) 2ヶ月に1回希望者・全保護者(7月)
- いじめ問題等(早期発見) 100%解消
- 読書冊数 (8割) 低学年:130冊 中学年:110冊 高学年:90冊
- 親子読書会との連携 月2回(読み聞かせ)

3 たくましい子 (たくましい体)

- 「早起き・早寝・帰ったらすぐに宿題」・メディアコントロール(生活リズム表点検と指導/学期ごと) 80% (児童・保護者アンケート「よい」、生活リズム調査)
- 安全指導の徹底 「児童の大けが0・事故0」「横断した後笑顔でお礼」 85% (児童・保護者アンケート「よい」)
- ヘルメット・保険加入 (100%)
- 安全点検 (100%) 全職員毎月1回 管理職・養護教諭毎日
- 運動量確保(教科体育)
- 一校一運動の推進(全員)
- 体力調査記録更新(全員)
- チャレンジがこしま(全員)

4 その他

- 新聞記事・子供のうた等年間30作品以上の投稿 (全員)
- 各種作品展への積極的な挑戦・応募 (全員)
- 適正な勤務時間管理と1Action・1Tryの実践 (8割)